



TITLE:

故八木芳之助教授哀辭

AUTHOR(S):

CITATION:

故八木芳之助教授哀辭. 經濟論叢 1944, 58(6)

ISSUE DATE:

1944-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/132107>

RIGHT:

會學濟經學大國帝都京

叢論濟經

號六第卷八十五第

哀辭 故八木教授遺影署名及原稿

戰時國債の性格と之に適應したる
國債の形態
…………… 神戶正雄

日清戰爭後の外資輸入
…………… 堀江保藏

ヒックスの利子理論
…………… 青山秀夫

國策コンツェルの形成と構造
…………… 靜田均

國民所得と戰爭經濟力
…………… 岩根達雄

八木教授逝く

故八木教授年譜及著書論文目錄

榮 報

本誌第五十八卷總目錄

行發月六年九十和昭



八木芳之助

皇朝詩林卷之六

卷之六

大德無遠致歡之遠也

大德無遠致歡之遠也

大德無遠致歡之遠也

大德無遠致歡之遠也

大德無遠致歡之遠也

大德無遠致歡之遠也

哀 辭

昭和十九年五月二日 本會評議員 京都帝國大學教授
經濟學博士八木芳之助君 病を以て逝去せらる

君は大正十年京都帝國大學經濟學部の業を卒へ 爾來
京都帝國大學經濟學部の教職にあること二十一年餘 そ
の專攻する農業經濟學の分野に於て前人未踏の境地を拓
きたるのみならず 經濟學部長または學生課長として本
學の經營に力を致し かたはら中央における各種委員と
して國家の行政に參畫せり 君平素身體強健を以て自ら
任じ その全精力を傾けて研究と教育とに努めしかば人
みなそのいよいよ大成せんことを囑望せしに わづかに

知命の域に躋り忽ち易簣せらる 殆んどその職に殉ぜる
ものと謂ふべし 痛恨何ぞ堪へん

君は又わが京都帝國大學經濟學會の評議員として會務
に盡瘁せられ その本誌に寄せられたる幾多の研究は學
界の定論として九鼎の重きをなせり 蓋し本會の君に負
ふところ實に少しとせず

茲に謹みて 君の遺影を掲げ 聊か哀悼の誠を表す

京都帝國大學經濟學會